令和６年度「第３回宮古島市地産地消推進協議会」
議事要旨

日時：令和７年１月 14 日(火)13:00～
場所：市役所２階会議室④
出席者：出席者名簿のとおり

協議事項
（１）『さんごの島のやさい』について

- これまでの検討経緯・今後の方針案の共有
  - 令和５年 12 月の協議会にて「さんごの島のやさい」というキャッチフレーズで宮古の美味しい野菜を PR することを決定。
  - その後の協議会にて、基準やシール発行、使用する主体等について議論し、その議論を踏まえて今回進め方についてたたき台を作成した。
  - スキーム：シールの発行は地産地消推進協議会として実施（事務局：市産業振興課）。市内産農産物を販売する主体（生産者・卸事業者・小売事業者）がシールを購入し使用する。令和７年度からは市から協議会へ交付する補助金をもとにシールを印刷し、販売。売上は市に寄付する形で還元し、差額は例えば子育て支援策等に充てることで、より PR しやすくする。
  - 本日の会議：スキーム、デザイン等について意見交換。会則や予算について決定したい。
  - 今後の方針：会則・予算が決まれば、銀行口座を開設する。
- 意見交換
  - ネーミングはすごくいい。別途実施している「しまさんにしましょう」のプロジェクトやぷからす交流商談会などの動きとも連携していく方がよい。
  - シールを発行するだけでは認知度が上がらない。のぼりやポスターなどを市内の店舗に展開して、どんどん目につく仕組みがあるとよい。イベントなども仕掛けられるとよい。
  - SNS やショート動画などもあるといいのでは。若い人たちに広めていければ。
  - 小さなシールを貼るのには結構手間がかかる。売上が上がるなど、それ以上のメリットを感じないと広まらない。知ってもらうための取り組みを同時にやっていく必要がある。シールだけでは、「さんごの島のやさい」がなぜいいのかが分からない。
  - ラジオやテレビでもプロモーションをやっていけたら。シールがあるだけ

で、選ばれるようになると思う。

- まずは記者会見で発表してPRしていきたい。
- 直売所では、全部市内産なので、全部に貼られることになり差別化にならないのでは。
- シールデザインに対する意見多数あり。
- デザインに関しては、修正後の案を会長・副会長で確認し決定する（一任する）。

（２）会則・予算の決定について（20分/14:20～14:40）

- 会則・予算の説明
  - これまで本協議会は「設置要領」を根拠としてきたが、予算をもつことになるので、総会や監査の位置づけが必要になるほか、銀行口座を開設するためにも「会則」として改めて決定する必要がある。
  - 設置要領から会則への変更内容を説明。
  - 予算案について説明。
- 意見交換
  - 会則・予算について一堂同意。
  - 欠席の会員が多いため、資料を共有した上で、電話等により意思確認し、書面開催の形を取って決定する。

以上